

日蓮聖人門連だより

発行
日蓮聖人門下連合会
〒146-8544
東京都大田区池上1-32-15
電話 (03) 3751-7181

平成15年8月31日
第28号

大日蓮展を終えて

「門連だより」前編集長 生駒雅幸

開幕の時よりも幾分か日足が延びたとは言え未だ寒さ厳しい中、東京国立博物館平成館の外壁に描かれた大きな蓮華に、冬の夕日が静かな光を注いでいる。平成十五年二月二十三日午後五時、最後の来場者を送り出して大日蓮展が幕を降ろした。

一月十五日から開催され三十六日間で十五万人を超える入場者を数えたこの展覧会は、まさに立教開宗七百五十年慶讃の掉尾を飾るにふさわしい記念の浄業であった。

私はいまだ二十一年に亘り日蓮宗宗務院に奉職してきたが、その中の何年かは門下連合会の幹事として、また門連だよりの編集長としての仕事をさせていただいた。現在はその職を離れたが、今回の大日蓮展円成を思うとき、受け難き人を受け、値い難き法華経に値い、更にこの立

理事長就任にあたって



日蓮聖人門下連合会理事長
日蓮 宗 務 総 長
岩間湛正

わが身、徳薄垢重と雖も六月十二日、日蓮聖人門下連合会理事長という重職への就任を、宗祖のご下命と心得て関係各聖のご推挙を謹んで頂戴いたしました次第であります。

時まさに、立教開宗七百五十年の嘉会を迎え、門下各派教団のご理解と力強いご協力のもと「大日蓮展」が開催されましたことは、宗祖以来の先覚諸師より伝わりし法華信仰の為せる仏作仏業でありました。かかる浄業によって数多の人々が恰も優曇華の開くに値えるが如き法悦を得、時を撰んで法運が興起薫発するものを感じると共に、格段の法功に尽されし諸師に深甚なる感謝と敬意を表すものであります。立教開宗七百五十一年目を迎えた私も門下連合会は、闊浮提広宣流布の心構えを、祖廟中心・立正安国の誓願実現の理念を忘却することなく、規約に表明される事業の展開が望まれております。「仏眼をかつて時機をかんがへよ、仏日を用いて国土をてらせ」とは「撰時抄」のお言葉であります。茲に、一天四海もともに法輪常に転じ、仏日益々輝かんことを願ひ、門下連合会の尚一層の連携と交流をはかり、次世代・未来際へ向け精進して参りたく誓願をあらたにするものであります。



さて、無事円成した本展覧会だが、そこに至るまでの道のりは必ずしも平坦ではなかった。第二十五号にも記したが、この企画が実際門連として緒に就いたのは平成八年秋を迎えてからのことであった。当時門下教団の信者が東京国立博物館の次長（副館長）を務められていたこともあり、本展の実現に向け何が必要なのか初めて具体的な要件が示されたのである。

こうした中で積極的に会議を重ねたが、平成十二年五月の常任理事会において「御正當の平成十四年まで二年を切った現状を鑑みた場合開催の実現は不可能」として、ついに本

展企画を中止にするとの決定がなされたのである。これが大日蓮展開催実現に向けた中でもっとも大きな危機であった。ところが不思議なもので計画が白紙に戻った直後、フジTVから日蓮宗に日蓮展開催の企画が持ち込まれたのである。内容的には中止となつた門連の企画案をスライドできるようなものであったので、これを以て再度日蓮宗より門連へその事業として行うべく提案、了承されたのが平成十二年十一月二十七日のことであった。

前回の中止の状況と異なる点は、フジTVという共催マスコミが明確となつていて（後に共催は産経新聞社となる）。東京国立博物館の内諾を既に得ていること。日蓮宗からの発議でもありこの案が門連として了承されるならば、その運営及び予算については日蓮宗がある程度考え

今更なる一つ感じたことは、こう成する事が出来るかと改めて実感した次第である。今回もう一つ感じたことは、こうした催しに一般社会の未開の方々が接していただくことは、私たち伝統教団にとり、日蓮聖人そして法華経信仰を弘めていく布教手段として大変有効なのではないかとということである。私たちは、日常的には法務を通じて檀信徒と接しているが、公の場所における効果的な布教という点では満足に出来ていない現状があると言えよう。



從地涌出

◆今年もただひたすら予定をこなすだけの「お盆」のシーズンが終わった。もう二十年以上同じ事を繰り返しているような気がする。私の地方では棚経は時間との勝負、一日五十軒、六十軒と廻らなければならぬ。それが終わると自坊と、近隣寺院の施餓鬼の手伝い。気が付くと秋の気配。

◆そんなある日、あるお婆さんからの電話。「御前さん、施餓鬼の日にはお盆の集まりがあるのでお寺にはいきません。塔婆もいりません」と。申し訳ないと詫言ってお婆さんに、「私に詫言ってもらっていいですか」と尋ねると困惑の様子。お盆の棚経には来て欲しいとの事。このお婆さんは若い時からあまり近所付き合いもなく、寺墓地に墓もないからお寺に来た事もない。お寺に馴染みがないのだ。このお婆さんに限らず大方の新興宗教に入信している人にとつて、先祖供養としての宗教と、個人の心の糧となる宗教は全く別なのだ。伴侶を数年前に亡くし、同居している家族とも疎遠なお婆さんにとつて、〇〇教の集まりで友人等と過ごす時は楽しいに違いない。「妙法広布正法興隆」「一天四海皆帰妙法」など口では唱えていても、一人のお婆さんをお寺に呼ぶ事もできない自らの無力さを情けなく思う。

◆日蓮聖人は、末法に法華経を広めるために「折伏」という手段を用いた事が強調される。日蓮聖人がどれだけ強い信念と、熱い情熱を持って衆生救済に全精力を傾注されたか、そのお姿の象徴であろう。しかし、「折伏」によって多くの敵を作つた日蓮聖人には、多くの熱心な外護者や信者、そして多くの優秀で忠実なお弟子がおられたのも事実である。日蓮聖人の温かく細やかで、大きくて包容力に富んだお人柄「人徳」がなかったら、教理教学だけでは従つて来なかったはずである。

◆お盆の棚経は、一軒あたり時間にして十分にもならない。そこで人と触れ合うのには限界がある。だからせめて法事や葬儀の時位は、「布教」とはほど遠いかもしれないが、出来るだけ時間を作り人と触れ合い、喜怒哀楽を共有できるような人間関係を作ることが心がけている。(題)

ポスト750 宗門布教の方向性 第5回 法華宗本門流

啓蒙的布教活動と事業展開の必要性

法華宗(本門流)宗務総長 渡辺俊岳



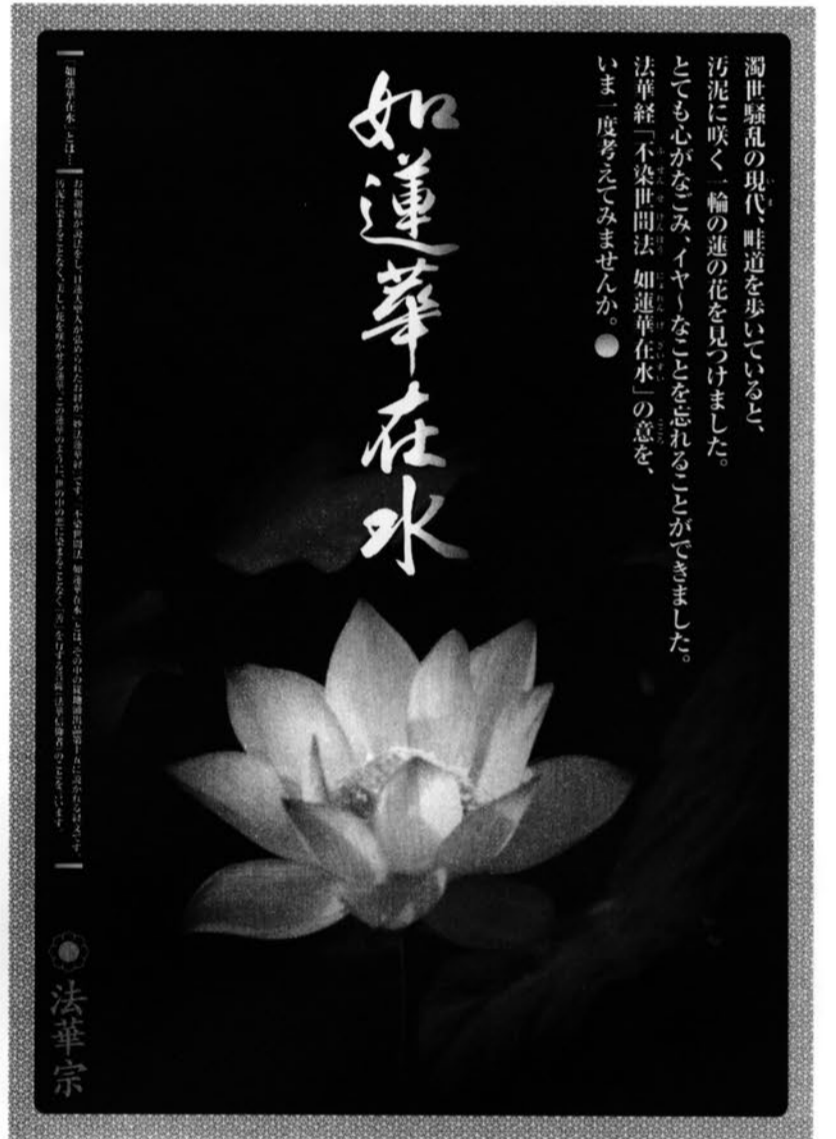
価値観の変化・変動の中で

宗門布教の基本的考えは、日蓮門下各宗各派教義の論説は別として、特色ある事業の展開を課題テーマ(スローガン)を以って同信僧俗を喚起し、宗門の護持興隆を主眼としていることは衆目が承知するところでありませぬ。

この不変常識を堅持する中に、御生誕あり、御遠忌あり、開宗ありと聖年を奉迎し、また門流の祖に關わる同義聖年を相勤めるなど、その節目節目を大衆の心の昂揚と信行増進に繋げる熱あふるる時とするが常であり、これを基本的な考えとするは時移れど変らぬものかと思ひます。

我が門流とするならば永遠の目標である「お題目総下種運動」を主眼とし、この行為行動の中にあつて如何に「菩薩行の実践」の意義を訴え衆知し、理解を促し、体験を経てその経験が実践されることへの願いを取り組みの旨としております。

しかし、「布教」とはと考へてみると教えを宣布するとは言へども、受け入れる側は様変わりをし、意識の変化ありで従来の取り組みでは多くを望めないのが現代であるとも感じます。布教方法は、正攻法は堅持しつつも時代のニーズ的なものを感じしながら進むしかないような状況、時代であり、大衆の価値観の変化・変動は流れの早い水流の如く、一時一刻変化している現状を考えると尾に縋るが精一杯で複雑極まりない世相であります。



濁世騒乱の現代、畦道を歩いていると、汚泥に咲く一輪の蓮の花を見つけました。とても心がなごみ、イヤなこと忘れられることができました。法華経「不染世間法、如蓮華在水」の意を、いま一度考へてみませんか。

そこで、一点考へたいのはコンピュータ社会の便利さは認めるとしても、人の血の通わないその動きに押し流される現況は如何ともしがたいと齒軋りしても受け入れざるを得ないところに難しさがあります。与えられるものの利便に満足をし、それにどっぶりつかり、努力の「ど」の字も見せることのできない輩の輩出は六度でいうところの忍辱心の欠如、我慢できない忍耐力のなさを助長していきなすし、耐える事の必要性がなくなれば短絡的な考へに陥り、安易な行動に走るは想像のつくことでもあります。

立正安国・恒久平和への灯り

一方で、このような人心の荒廃をもたらしした理由の一つに自然破壊、資源の枯渇など人間のエゴがなせる手前勝手な物質成長のみに励み、生産企業社会の多くが反省もなく突き進んだがための産物現象ではないでしょうか。それを受け入れた我々にも責任の一端はあるにしても、よくよく考へてみると運にききた感はありませんが、この事に対処方法を考へ、行動を起す、その時が訪れているように感じます。

そこで日蓮聖人門下連合会という連絡協議組織の活動の中で一宗一派の布教の方向性は各々が独自の

合掌

お願い

「門連だより」の継続発展のため各派の協力をお願いいたします。本紙に対する感想要望など、ぜひお寄せ下さい。

「日蓮聖人門連だより」編集委員会

仏蹟参拝は大陸旅遊



インド・ネパールはもちろん中国シルクロード・スリランカ・ミャンマー・ラオス・ベトナム・ブータン・アンコール遺跡等へのご旅行手配もおまかせ下さい。

国土交通大臣登録旅行業第1399号/日本旅行業協会正会員/ロイヤルネパール航空代理店

大陸旅遊

株式会社 大陸旅遊

Royal Nepal Airlines

Tairiku Tours & Leisure co., TEL 03-3376-2511 FAX 03-3376-5280 http://www.tairikuryou.co.jp mail:tairikuryou@nifty.com

●東京本社 〒160-0023 東京都新宿区西新宿5-5-6 西新宿旭ビル2階 ●インド支社 8,Commercial circle,Jangpura Extension,NEW DELHI-110014

残暑御見舞



日蓮聖人門下連合会

(平成十五年八月現在)

日蓮宗宗務院

管長 藤井 日光 財務部長 中條 令紹
 宗務総長 岩間 湛正 宗務総長室長 遠藤 文祥
 伝道局長 藤崎 一明 立教開宗七百五十年
 慶園会事務局長 田澤 元泰
 総務局長 栗原 正震 現代宗教研究所長 久住 謙是
 伝道部長 田端 義宏 参 与 堀江 宏正
 教務部長 三坂 恵人 参 与 浅井 玄裕
 総務部長 小倉 光雄 日蓮宗新聞社社長 西嶋 宏明

〒146-8544 東京都大田区池上一-三二一-一五
 電話 〇三(三七五)七一一一
 FAX 〇三(三七五)七一一八

法華宗(本門流)宗務院

管長 大塚 日正
 宗務総長 渡辺 俊岳
 財務部長 佐藤 義賢
 教学部長 佐々木 明乘
 教化部長 高村 法顕
 庶務部長 有田 秀達

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町二-一九-一
 電話 〇三(五六一四)三〇五五
 FAX 〇三(五六一四)三〇五六

顕本法華宗宗務院

管長 中山 日暁 教務部長 桑村 信慶
 宗務総長 中村 通義 社会部長 多門 顕正
 宗務次長 渡辺 昭夫 宗務主事 小松 正学
 庶務部長 島田 幸晴 宗務主事 田中 善翔
 財務部長 藤崎 行学 宗務主事 湯原 正純
 布教部長 早川 義正 宗務主事 中村 英司

〒606-0015 京都府京都市左京区岩倉幡枝町九-一
 電話 〇七五(七九二)七二七一
 FAX 〇七五(七九二)七二六七

法華宗(陣門流)宗務院

管長 鈴木 日艸
 宗務総長 土屋 善敬
 総務部長 佐古 弘文
 教学部長 門谷 東生
 財務部長 八木 恵岳
 教化部長 佐古 大弦
 宗務参事 大島 崇皞

〒170-0002 東京都豊島区巢鴨五-三三-一六
 電話 〇三(三九一八)七二九〇
 FAX 〇三(三三五六)〇二二一

本門佛立宗宗務本庁

講 有野 崎 日丞
 講 榎本 日裔
 宗務総長 高尾 日音
 宗務副総長 佐藤 日鳳
 宗務副総長 藤本 博造
 宗務本庁役員一同

〒602-8377 京都市上京区御前通一条上之東整町二-〇番地
 電話 〇七五(四六一)一六六六
 FAX 〇七五(四六一)五五九九

日蓮本宗宗務院

管長 嘉儀 日有
 宗務総長 野間 正明
 総務部長 長崎 秀要
 教学部長 岩崎 広義
 財務部長 原 光明
 法務部長 原 光明

〒606-8362 京都市左京区新高倉通孫橋上ノ丸法皇町四四八
 電話 〇七五(七七二)三三三九
 FAX 〇七五(七七二)五九一四

法華宗(真門流)宗務院

管長 上川 日乾
 宗務総長 斎藤 隆彦
 総務部長 上田 浩岳
 教学部長 辻本 寛孝
 財務部長 堀 智泰
 社会部長 木村 完祥
 主事 本多 信正
 主事 足立 真正

〒602-8447 京都市上京区智慧光院通り五上ノ丸紋屋町三三〇
 電話 〇七五(四四二)五七六六
 FAX 〇七五(四四二)五六六六

本門法華宗宗務院

管長 杉本 日慈
 宗務総長 高邊 信幸
 宗務部長 信隆 日系
 財務部長 増田 隆雄
 総務部長 藤井 宏長
 庶務部長 土畑 信教
 教務部長 音羽 隆全
 門連責任理事 山下 通雄

〒602-8418 京都市上京区寺之内通大宮東大妙蓮寺前町八七五
 妙蓮寺内
 電話 〇七五(四五二)三五二七
 FAX 〇七五(四五二)三五九七

宗教法人 国柱会

賽主 田中 暉丘
 理事長 古知 毅彦
 門連責任理事 石見 良教
 門連理事 井上 宝護
 門連理事 相澤 宏明

〒132-0024 東京都江戸川区一之江六一-一九-一八
 電話 〇三(三五六六)七一一二
 FAX 〇三(三五六六)九九八〇
<http://www.kokuchukai.or.jp>

京都日蓮聖人門下連合会

會長 山田 一光
 副會長 中山 日暁
 理事長 杉若 惠隆
 副理事長 大川 定信

京門連事務局
 〒606-8376 京都府京都市左京区二条通川端東入
 日蓮宗本山頂妙寺布教会館内
 電話 〇七五(七六二)二四一一
 FAX 〇七五(七五二)九三三八

日本山妙法寺大僧伽

首座 塙 行幸
 長老 石山 定光
 長老 吉田 行典
 長老 酒迎 天信
 長老 今井 行康
 長老 二宮 和嘉
 長老 池田 行朗

日本山妙法寺大僧伽
 〒206-0812 東京都稲城市矢野口三五七-一番地
 電話 〇四二(三七八)三三九五
 FAX 〇四二(三七九)〇七四四



舞見御暑残

日蓮聖人門下連合会

(平成15年8月現在)

<p>法華宗(陣門流)総本山 本成寺</p> <p>〒955 0845 新潟県三条市西本成寺一―一―一〇 電話 〇二五六(三三)〇〇〇八</p> <p>黄首 鈴木日艸 執事 真保行宣 執事 鈴木顕正 執事 栗田孝之 執事 高橋俊二</p>	<p>顕本法華宗総本山 妙満寺</p> <p>〒606 0015 京都府京都市左京区岩倉幡枝町九一 電話 〇七五(七九)七七一 FAX 〇七五(七九)七二六七</p> <p>黄首 中山日暁 総務 島田幸晴 執事 山本晃道 執事 林孝瑞 執事 中村英司 執事 湯原純 執事 森田修心</p>	<p>日蓮宗大本山 池上本門寺</p> <p>〒146 8576 東京都大田区池上一―一―一 電話 〇三(三七五)一三三三 FAX 〇三(三七五)三三五〇</p> <p>黄首 酒井日慈 執事 早水日秀 役員一同</p>	<p>日蓮宗総本山 身延山久遠寺</p> <p>〒409 2593 山梨県南巨摩郡身延町身延 電話 〇五五六(二)一〇一一 FAX 〇五五六(二)一〇九四</p> <p>法主 藤井日光 総務 井上瑞雄</p>
<p>本門佛立宗本山 宥清寺</p> <p>〒606 8336 京都市上京区一条通七本松西入滝ヶ鼻町一〇五一 電話 〇七五(四六三)四六二〇代 FAX 〇七五(四六三)四六五一</p> <p>住職 野崎日丞 二十三世 有 執事 佐々木日調 事務局 伊藤隆之</p>	<p>多寶富士山 日蓮宗 本山要法寺</p> <p>〒602 8418 京都市上京区寺ノ内通大宮東入妙蓮寺前町八七五 電話 〇七五(四五)三五二七 FAX 〇七五(四五)三五九七</p> <p>黄首 嘉儀日有 大学 頭 丹治日遠 執事 野間正明 執事 岩崎広義 執事 原光明</p>	<p>本門法華宗大本山 妙蓮寺</p> <p>〒602 8447 京都市上京区智慧院通り五辻上ル紋屋町 電話 〇七五(四四)五七六二 FAX 〇七五(四四)五六六六</p> <p>黄首 杉本日慈 執事 飯田信栄 役員一同</p>	<p>法華宗(真門流)総本山 本隆寺</p> <p>〒602 8447 京都市上京区智慧院通り五辻上ル紋屋町 電話 〇七五(四四)五七六二 FAX 〇七五(四四)五六六六</p> <p>黄首 上川日乾 執事 矢多信正 執事 本立真正 執事 足立真正 書記 笹木研吾 書記 永岡悠希</p>
<p>日興上人御廟所 日蓮宗大本山 富士山重須本門寺</p> <p>〒418 0112 静岡県富士宮市北山四九六五 電話 〇五四四(五八)一〇〇四 FAX 〇五四四(五九)〇三〇三</p> <p>黄首 本間日諄 参事 井出教道 参事 井井親雄 参事 坪野上正文 参事 井野上正文 執事 土橋興照</p>	<p>鎌倉開教七百五十年霊地 日蓮宗本山 比企谷 妙本寺</p> <p>〒248 0007 鎌倉市大町一―一―一五―一 電話 〇四六七(二二)〇七七七 FAX 〇四六七(二五)六九六七</p> <p>黄首 加藤日暉 執事 大埜稔申 執事 立野正泰 山務役職員一同</p>	<p>日蓮宗大本山 妙顕寺</p> <p>〒602 0005 京都市上京区寺ノ内通堀川東入 電話 〇七五(四一四)〇八〇八 FAX 〇七五(四一四)〇八四八</p> <p>黄首 山田一光 執事 原光司</p>	<p>日蓮聖人出家得度《報恩》の霊跡 大本山 清澄寺</p> <p>〒209 5505 千葉県安房郡天津小湊町清澄三三二一 電話 〇四七〇(九四)〇五二五 FAX 〇四七〇(九四)〇五二七</p> <p>別当 岡崎日泰</p> <p>団参には是非、研修会館をご利用ください。一名八千円、二百名様までOK。</p>
<p>日蓮門下お題目初唱之霊場 日蓮宗東身延本山 藻原寺</p> <p>〒297 0026 千葉県茂原市茂原一―一―一〇一 電話 〇四七五(二二)三三三三 FAX 〇四七五(二二)一一七三</p> <p>黄首 持田日勇 総務 増田實泉 執事 富永一道 役員一同</p>	<p>日蓮宗本山 頂妙寺</p> <p>〒606 8376 京都市左京区仁王門通川端東入大菊町九六 電話 〇七五(七七)〇五六二 FAX 〇七五(七五)一〇〇四</p> <p>黄首 永田恵遠 参事 山田智清 執事 安藤信行 執事 藤井照源 執事 藤井照源 執事 川部知陽雄</p>	<p>やくよけ祖師 日蓮宗本山 堀之内妙法寺</p> <p>〒166 0013 東京都杉並区堀之内三―四八―一八 電話 〇三(三三三)六二四一 FAX 〇三(三三三)五〇〇七</p> <p>山主 駒野日法</p>	<p>日蓮宗大本山 法華経寺</p> <p>〒272 0813 千葉県市川市中山二―一―一 電話 〇四七(三三四)三三三三 FAX 〇四七(三三四)一七九六</p> <p>黄首 新井日湛 執事 渡辺貞観 参事 関代浩康 同 田代敬 同 喜多村教雅 同 渡辺行俊</p>

門連時報

身延理事会開催さる

平成十五年六月十二日(木)日蓮宗本山身延山久遠寺(藤井日光法主)で、「日蓮聖人門下連合会祖廟参詣・身延理事会」が開催され、門連顧問・常任理事・理事・監査・大阪門下懇話会代表など計二十三名が参加した。

午前十一時集合。常唱殿より祖廟並びに御草庵にて法味言上。続いて客殿にて記念撮影後、大本堂にて法味言上。報恩閣に移動。昼食後、参加者は宝物館を自由参観。午後二時より理事会が開催された。

会議に先立ち、平成十五年一月二十三日をもって門下連合会理事長・日蓮宗宗務総長渡邊清明師が日蓮宗宗務総長を退任されたことにより、常任理事会により新たに理事長に推薦された日蓮宗宗務総長岩間湛正師が、理事会に諮られ正式に承認された。続いて、岩間湛正理事長が座長となり議題に沿って議事を進行。事務局より「平成十四年度事業報告」がなされ、常任理事会・理事会の開催、門連だよりの発行日、機関紙編集委員会の開催、各派門連役員



日蓮聖人門下連合会 祖廟参詣 (平成15年6月12日)

大阪日蓮聖人門下懇話会

大阪日蓮聖人門下懇話会では、日蓮聖人立教開宗七五〇年慶讃記念に清澄寺参拝と「大日蓮展」拝観の旅を実施しました。

当会は、毎年、日蓮聖人報恩合同御会式、会員対象の研修会、京都十本山巡拝日帰りバスツアーが年中行事として定着しており、立教開宗七五〇年を記念して慶讃の気持ちを表すべく、初めての一泊二日の遠出となりました。

会員・寺族に一部信徒も加わり、二十六名が、平成十五年一月二十一日に東京国立博物館の「大日蓮展」を拝観、日蓮聖人のお姿をお木像や画像で拝し、ご真筆を目近に拝読し数多くの法華経文化に触れ、一同感激の面持ちでした。

その晩は、ホテル三日月うしお亭に宿泊、夕食の席には、当会顧問でもある清澄寺奥邸別当現下(当時)や大阪出身の東孝信執事長にも同席いただき、和気藹々、当会の目的の一つである会員相互の親睦を深める実を大いにあげることができました。



立教開宗七五〇年慶讃 大阪日蓮聖人門下懇話会 於・清澄寺(平成15年1月22日)

「大日蓮展」記録ビデオと図書

【良書紹介】
十五万人以上の拝観者を集め好評のうちに閉幕した「大日蓮展」(一月二十五日〜二月二十三日、東京国立博物館)の記録ビデオが完成しました。また、すでに出版された図録の希望者が多かったため、新装新たにハードカバーとなりました。

ビデオは第一部「大日蓮展」記録映像(四十二分)と第二部「日蓮の生涯」会場ビデオ(十一分)に分かれ、一巻千円(税・送料は含まれておりません)。

図録は、展示品百六十一点すべてがカラーで解説付。A4版二六八頁、一冊三千円(税・送料は含まれておりません)。

希望者は、郵便番号、住所、氏名、電話番号と購入冊数を明記し、日蓮宗新聞社(〒146-0082)へお申し込みください。

年月日	氏名	宗派	門連役職	就任	退任
平成一四・四・一	篠原智高師	日蓮宗	常任理事	就任	退任
平成一四・五・三〇	金山日龍師	日蓮宗	理事	就任	退任
平成一五・一・三〇	小松浄慎師	日蓮宗	常任理事	就任	退任
平成一五・一・三二	永田惠遠師	日蓮宗	常任理事	就任	退任
平成一五・一・三二	栗原正震師	日蓮宗	常任理事	就任	退任
平成一五・六・二二	渡邊清明師	日蓮宗	理事長	就任	退任
平成一四・六・三〇	岩間湛正師	日蓮宗	理事長	就任	退任
平成一四・一・二二	永野智啓師	法華宗真門流	理事	就任	退任
平成一四・一・二二	持地光光師	本門法華宗	理事	就任	退任
平成一五・一・一	佐藤光徳師	京都門下連合会	顧問	就任	退任
平成一五・一・一	岡本日巨師	京都門下連合会	顧問	就任	退任
平成一五・一・一	山田一光師	京都門下連合会	常任理事	就任	退任
平成一五・一・一	桃井晋城師	京都門下連合会	常任理事	就任	退任
平成一五・一・一	杉若惠隆師	京都門下連合会	常任理事	就任	退任
平成一五・一・一	杉若惠隆師	京都門下連合会	常任理事	就任	退任
平成一五・一・一	大川定信師	京都門下連合会	理事	就任	退任
平成一五・三・三二	大川定信師	京都門下連合会	理事	就任	退任
平成一五・四・一	島田幸晴師	京都門下連合会	理事	就任	退任
平成一五・三・三一	大橋邦正氏	国柱会	常任理事	就任	退任
平成一五・四・一〇	石見良教氏	国柱会	常任理事	就任	退任
平成一五・三・三一	石見良教氏	国柱会	常任理事	就任	退任
平成一五・四・一〇	井上宝護氏	国柱会	理事	就任	退任
平成一五・三・三一	渡野寿夫氏	国柱会	理事	就任	退任
平成一五・四・一〇	相澤宏明氏	国柱会	理事	就任	退任
平成一五・八・一三	有原日龍師	法華宗本門流	顧問	就任	退任
平成一五・八・一三	大塚日正師	法華宗本門流	顧問	就任	退任



東京都大田区池上七二二三一三三三
たはFAX〇三三三七五三三三七〇二
八へ。

毎月3回お届けします。信仰・ふれあい・笑顔…

宗門唯一の日蓮宗新聞

伝道機関紙 毎月1日・10日・20日
年間購読料3,600円(送料込)

教誌 **正法** 一冊350円(送料別)
年間購読料1,700円(送料込)

○年4回発行
お正月(1月号)/春季彼岸(3月号)
お盆(7月号)/お彼岸・お会式(9月号)

詳しくは…
(株)日蓮宗新聞社
〒146-0082 東京都大田区池上7-23-3
TEL.03-3755-5271 / FAX.03-3753-7028
nichiren@t3.rim.or.jp
http://www.t3.rim.or.jp/~nichiren/
(業務時間 午前9時30分～午後5時)

日蓮宗新聞社のお店
〒146-0082 東京都大田区池上4-18-1
TEL&FAX.03-3755-6462
(業務時間 午前10時～午後4時)
※いずれも土・日・祝・祭日休み

各派・教団・短信

日蓮宗

◆4月22日、日蓮宗総本山の身延山久遠寺に世界各国、日本全国から三千五百人以上の僧侶・檀信徒が集い、宗祖日蓮聖人立教開宗七百五十年慶讃結願大法要が営まれた。

◆6月21日、アメリカ・ハワイ州のオアフ島ホノルル市・ハワイ日蓮宗別院(小川如洋主任)で藤井日光管長祝下をお迎えし、立教開宗七五〇年・ハワイ開教一〇〇周年慶讃大法要が盛大に営まれた。また同日、昨年9月に完成したハワイ日蓮宗別院新本堂の浴慶法要もあわせて行われた。日蓮宗がはるか太平洋を越え、ハワイという異国の地でその信心を継承し、以来百年余、開教に尽力し、百年の歴史を築き上げてきた先師を顕彰するとともに、今後もその意志を受け継ぎ、新たな布教活動を展開する節目として行われた一連のテーマは、「伝えよう過去から未来へ、弘めようハワイから世界へ」。

◆6月22日、ハワイ島カハラで日蓮宗近代開教顕彰除幕式が行われ、歴代開教先師の遺徳が顕彰された。

国柱会

◆全国各地方連合局において、研修会、本化儀典研修会、婦人の集いを開催。毎月3日曜日、妙宗大靈廟例月供養会開催。毎月17日、恩師田中智學先生報恩法要厳修。毎週一回、日蓮聖人御遺文輪読会開催。毎月一回、「日蓮聖人の教義」勉強会開催。

◆平成15年1月1日、送旧迎新法要。田中暉丘賽主以下、明治神宮参拝。新年拝賀式・元旦大國持・神酒拝戴式厳修。2月11日、紀元節慶讃法要厳修。15日、釈尊涅槃会報恩法要厳修。16日、聖祖降誕会慶讃法要厳修。3月22日、日蓮聖人門下ネットワーク街頭宣伝活動開始(以後、毎月一回実施)。30日、申孝園桜まつり開催。10日、国柱会本部にて婦人部サークル「申孝園の集い」開催。21日、妙宗大靈廟春季彼岸大供養会厳修。宮澤賢治学会春季セミナー一行来園。

◆4月8日、釈尊降誕会慶讃法要厳修。28日、立正会慶讃法要。第七十三回身延登詣閉園、田中賽主以下身延へ。5月4日、婦人部対象の蓮華サークル例会、本部にて開催(年四回開催)。12日、伊豆法難会慶讃法要厳修。

◆7月7日より二泊三日で「佐渡靈蹟参拝」開催。8日、顕正会慶讃法要。昨年3月より本部若手職員の内閣連合局巡回を、継続して行なっている。(石見良教)

京都門連

◆平成15年1月23日、「門連理事会・懇親会」。「日蓮宗京都第一宗務所」。平成14年度決算・監査報告。15年度新役員確認・行事予定・予算案。新役員山田一光新会長(大本山妙満寺)。中山日暁副会長(総本山妙満寺)。杉若恵隆理事長(本栖寺)。島田幸晴副理事長(総本山妙満寺総務)。

◆2月16日、十一時から本山本法寺で「総会」。予算決算・各種議案を審議・承認。十二時から本山本法寺で「宗祖降誕会」。導師・大塚泰詮祝下(本山本法寺)。法話講師・大川定信祝下(本山寂光寺)。

◆3月14日、「理事会」。「日蓮宗京都第一宗務所」。「開宗会・夏期大学」の件。

◆4月26日、「門連開宗会」。「比叡山大講堂」導師・永田恵遠祝下(本山頂妙寺)。法話講師・田仲良啓師(真門学林長)。講題「我もつづいて」。参加者は百余名。延暦寺会館で昼食後、比叡山山頂の「ガーデンミュージアム比叡」を観光。

◆5月15日、本山妙伝寺貫首・藤井安国日栄祝下ご遷化。19日、「理事会」。「日蓮宗京都第一宗務所」。「夏期大学・御会式」の件。

◆8月24日、午前九時半、「第39回夏季大学」。「本能寺文化会館」。講題と講師は、「人生の目的は、仏教を極めて仏になり平和に貢献する」。日蓮宗本山本満寺貫首・伊丹日章祝下、「日蓮一門」として日蓮宗現宗研所長・久住謙是師、「現代文明の影と宗教」龍谷大学名誉教授・田北亮介氏。参加者約百五十名。同日午後五時、理事会「本能寺客殿」。「御会式」の件。

顕本法華宗

◆2月25・26日の二日間、京都総本山妙満寺において第五十八定期宗会が開催された。平成14年度事業・決算報告、平成15年度事業・予算案等が審議された後、任期満了の内局役員人事が承認された。宗務総長 中村通義(再)宗務次長 渡辺昭夫(再)庶務部長 島田 幸晴(再)財務部長 藤崎行学(再)布教部長 早川義正(再)教務部長 桑村信慶(新)社会部長 多門顕正(新)。

◆5月10・11日の二日間、京都総本山妙満寺に於いて、恒例の報恩大法要が大導師菅長中山日暁祝下のもと厳修された。

◆7月23・26日の四日間、京都総本山妙満寺に於いて第四十回顕本青少年れんせい会が開催された。全国より八十五名の小中学生が参加した。勤行や唱題行、写経、作品作成等、小さな修行に励んだ。大阪のユニバーサル・スタジオ・ジャパンの見学は天候にも恵まれ、楽しい夏休みの思い出を作った。

◆8月25・9月8日の十五日間、総本山妙満寺において妙塔大学林を開講した。本年度も本科(一年生)、研修科(二年生)に分かれて、僧侶としての基本的な修行二道を学んだ。(多門顕正)

◆2月21日、教区所長会議、布教師会を開催。本年度各教区の活動計画案の報告、布教計画を作成。

◆3月25日より27日まで僧風林開講。

◆4月9日より28日まで、真門学林(春季)が開講。11日より三日間、総本山本隆寺千部会厳修される。

法華宗門流

◆1月23日、第百一次臨時宗会が、東京巣鴨・法華宗宗務院会議室において開催され、土屋善敬総長が再任された。

◆2月3日、総本山本成寺において「節分鬼踊り追儺式」が貫首鈴木日舛祝下御導師のもと厳修された。

◆3月26・27日、第百二次定期宗会が、宗務院会議室において開催された。

◆4月7日、宗務所長会が、宗務院会議室において開催された。

◆5月12日、伊豆・霊跡別院連着寺において、「祖岩法難会」が厳修され、本年も全国寺院よりの檀信徒が参拝した。

◆5月13日より6月21日までの四十四日間、総本山本成寺において、「法華宗学林」が開講され、今年も全国より寺院徒弟が集まった。学林生達は、毎日、早朝より教学研究・練経・浄行などに励み、修行二道に精進した。

◆5月23日より25日までの三日間、総本山本成寺において「祠堂法要」が日舛祝下御導師のもと厳修され、全国寺院よりの檀参で賑わった。(松吉慶憲)

本門法華宗

◆3月28日、第八十九回本門法華宗宗会が、大本山妙蓮寺卯木講堂にて開催された。立教開宗七五〇年慶讃法要会計決算の件他、第十四号議案まで、審議の結果、全員一致を以て承認可決された。

◆本年6月25日任期満了を迎えた杉本日慈管長・貫首祝下は、前項の本門法華宗宗会並びに本山責任役員会の再就任要請を受諾され、本門法華宗管長・大本山妙蓮寺貫首を再任されることと決定した。6月26日付を以て就任。任期は三年間。6月30日、妙蓮寺に於いて継目式が行われ、就任祝賀会が京都全日空ホテルで開催された。

◆大本山妙蓮寺では本年5月、大本山の屋根を補修した。屋根も老朽化が著しく、雨水漏れの兆候が診られる部位もある為、4月中旬より約一ヶ月間の工期で修復された。

◆8月3日、第十一支庁では青少年御会式が、神戸・本法寺で奉修された。御奉公の中心となる青少年委員会は、「自分達の為に、自分達のことを考える、自分達の組織」として発足され、本年二回目となる。青少年が一八〇名集い、工夫を凝らしたアトラクション等、開講一五〇年奉賛御奉公へ精進する決意を新たにされた。

◆8月3日、第十一支庁では青少年御会式が、神戸・本法寺で奉修された。御奉公の中心となる青少年委員会は、「自分達の為に、自分達のことを考える、自分達の組織」として発足され、本年二回目となる。青少年が一八〇名集い、工夫を凝らしたアトラクション等、開講一五〇年奉賛御奉公へ精進する決意を新たにされた。

◆8月3日、第十一支庁では青少年御会式が、神戸・本法寺で奉修された。御奉公の中心となる青少年委員会は、「自分達の為に、自分達のことを考える、自分達の組織」として発足され、本年二回目となる。青少年が一八〇名集い、工夫を凝らしたアトラクション等、開講一五〇年奉賛御奉公へ精進する決意を新たにされた。

◆8月3日、第十一支庁では青少年御会式が、神戸・本法寺で奉修された。御奉公の中心となる青少年委員会は、「自分達の為に、自分達のことを考える、自分達の組織」として発足され、本年二回目となる。青少年が一八〇名集い、工夫を凝らしたアトラクション等、開講一五〇年奉賛御奉公へ精進する決意を新たにされた。

本門佛立宗

◆5月25日、第一支庁・宥清寺布教区(京都)では、立教開宗七五〇年慶讃別修法要が奉修された。本山宥清寺は本堂御宝前前の御修復、改修工事、全国各寺院からのご参詣を無事お迎えさせていただいた。又、この日を機に、宥清寺教講一同は宗門の中心として、佛立開講一五〇年奉賛御奉公へ精進する決意を新たにされた。

◆去る3月の第一七三回定期宗会にて、次期宗務総長に選出された山内日開師(西宮・廣宣寺住職)は、その後10月13日付で発足する次期内局の総局員(各局長)をほぼ確定した。宗務副総長に、石田日興師、嶋田幾雄の両師氏、教務局長・中野日崇師、弘通局長・高須日良師、総務局長・石田日興師、出版局長・岡本日盈師、財務局長・嶋田幾雄氏。開講一五〇年奉賛御奉公を担当する奉賛局長は長谷川日興師となっている。(前島照力)

◆去る3月の第一七三回定期宗会にて、次期宗務総長に選出された山内日開師(西宮・廣宣寺住職)は、その後10月13日付で発足する次期内局の総局員(各局長)をほぼ確定した。宗務副総長に、石田日興師、嶋田幾雄の両師氏、教務局長・中野日崇師、弘通局長・高須日良師、総務局長・石田日興師、出版局長・岡本日盈師、財務局長・嶋田幾雄氏。開講一五〇年奉賛御奉公を担当する奉賛局長は長谷川日興師となっている。(前島照力)

るつうぶん

今年七月の日照時間は記録的に短く、一九九三年以来十年ぶりの冷夏だそうである。まさに十年前も冷夏で、米不足との報道に多くの人々が国産米を我先にと買い、タイ米だブレンド米だと振り回されたのが思い出される。人は不確かな不安にさらされた時、利己的保身がはたらき、ときに人を出し抜いてまで自分だけは助かろうとする心が生ずる。現代の我々もとても大切な人としての基本的な心を見失う事がある。自分が困っている時にこそ、自分だけ助かろうとするのではなく、逆に人に施す心。その心とはつまり法華経の心であり、実行する事はすなわち行ではないか。こんな時代だからこそ、それらをお題目を通じて呼び覚まし、見失わせたままではいけない。(今)

日蓮聖人門下連合会

●目的
本会は日蓮聖人の理想を実現するため、祖廟を中心として門下各派及び教団並びに地方門下連合会の連絡、協力、団結を強化することを目的とする。

●事業
本会は前条の目的を達成するため、左の事業を行う。
1、祖廟護持の組織強化
2、教育事業の提携
3、布教の連合強化
4、懇談会・研究会・講演会等の開催
5、各種出版物の刊行
6、海外布教の提携及び交流
7、対外的な各種の運動
8、その他

●加盟団体
日蓮宗 法華宗本門流
顕本法華宗 法華宗門流
本門佛立宗 日蓮本宗
法華宗真門流 本門法華宗
国柱会 日本山妙法寺
京都門下連合会